

【近畿 ESD コンソーシアム・学生による ESD 活動支援】

あすかばんど野外活動支援 報告書

特別支援教育専修 2回生 神吉 優利奈

1. 実施日 2023年8月20日(日)

2. 場所 奈良市立飛鳥小学校

3. 参加者 音楽教育専修 4回生 松岡 花
英語教育専修 3回生 苗代 昇妥
英語教育専修 2回生 澤井 咲樹
特別支援教育専修 2回生 神吉 優利奈
特別支援教育専修 1回生 田畑 朗

4. 活動の概要

2023年8月20日に奈良市立飛鳥小学校にて、児童や地域の方が共に音楽活動を行う「あすかばんど」を中心とした野外活動が行われ、その支援を目的として本学ユネスコクラブの学生が参加した。活動支援の具体的な内容は、会場運営の補助、スタントの実施、屋外での水遊びの補助などである。

5. 参加学生の学び・感想

あすかばんど野外活動支援に参加し、演奏を聴いた。ユネスコクラブのスタントではギターを担当した。

コロナ禍で大学に入学したため、直接子供と関わる機会は今回が初めてだった。オンライン上の交流とは異なり、子どもたちの表情や声色、動きを直接見て、子供達に積極的に声をかけ短い時間の中で好きなものや夏休みの様子を聞くことができた。また、集団に入れず困っている子供にも、そばで声をかけてアプローチすることができた。

音楽を通して、大人も子供も心を一緒に楽しめる野外活動だった。

(音楽教育専修 4回生 松岡 花)

今回の野外活動支援で学んだことは、臨機応変に対応する重要性である。今回は、3つのスタントを実施したが、本番直前でスタントの順番を入れ替えることになった。順番が変わったがスムーズに進行することができて、参加者も楽しんでくれたように思う。状況に合わせて短い時間で適切な判断を下し、その場を盛り上げることができた。

瞬時の判断は、授業する際にも必要になるだろう。これからも野外活動支援を通して、状況判断力をより向上させていきたい。

(英語教育専修 3回生 苗代 昇妥)

あすかばんど野外活動支援を通して、音楽が作り出す一体感を感じることができ、一生懸命演奏する児童・生徒、地域の方からパワーをもらうことができた。

私達も、音楽を使ったスタンプを行うという形で参加して、場を盛り上げようとしたものの、うまくいかない部分もあったと思う。もっと周りを巻き込んで、一緒に楽しめるように声掛けをするなどの工夫をすべきであった。特に、保護者の方や地域の方にも積極的に参加してもらえるように考えるべきであったと思った。

(英語教育専修 2回生 澤井 咲樹)

今回あすかばんど野外活動支援に参加させていただいて、子供達が様々な人と触れ合う機会が大切であること、皆で1つの活動をする楽しさなど、人との交歓について学ぶことができた。

今の子供達は人と交流する機会や、体を思いっきり動かして遊ぶことが少なくなっていると思う。そのような子供達が、音楽を通して人と繋がる、地域の人も巻き込んで沢山のひとと触れ合う様子を見ることが出来た。このような機会を作ったり、身近な地域での活動に参加したりすることで、子供達の経験や思い出を豊かにする手伝いができると思った。

(特別支援教育専修 2回生 神吉 優利奈)

今回の野外活動支援での活動を通して、スタンプでは、どのように取り組めば子供達を楽しませることが出来るかを意識し、子供達の視点に立って取り組むことが出来た。しかし、全員で空気を作れたわけではないため、次回はより広い視野を持ち状況に応じて柔軟な取り組み方をできるように意識しようと考えた。また、水鉄砲大会では、子ども達が精一杯楽しんでくれている姿を見つつ一緒に参加させていただいたことから、子ども達や地域の人々と心を通わせることの大切さを改めて学んだ。

(特別支援教育専修 1回生 田畑 朗)